



食の安全「基本のお話」

— 第84回 —

— 食の安全YouTubeライブ —

「気になる食の不安情報 その正体 食品添加物から残留農薬まで」

科学ジャーナリスト松永さんの講演と座談会をライブ配信します。

ライブ配信 7月3日(土) 13:00~15:00

募集 アビエ6月号

ご家庭のパソコンやスマートフォンから、テレビをみる感覚で参加いただけます。
コープしが、京都生協、ならコープ、わかやま市民生協との共同開催です。



内容

世の中にあふれる食の不安情報にわたしたちはどう向き合えばいいのでしょうか。科学ジャーナリストの松永さんから、ヒントをいただきます。講演後、「あなたの感じている食の不安」をテーマに座談会を行います。
参加申込時に、あなたが気になっている「食の不安」も教えてください。



松永 和紀さん

京都大学大学院農学研究科修士課程修了。毎日新聞社に記者として10年間勤めたのち、科学ジャーナリストとして活動を開始。『メディア・バイアス——あやしい健康情報とニセ科学』(光文社新書)で科学ジャーナリスト賞受賞。『第三者委員会報告書格付け委員会』にも加わり、企業の第三者報告書にも目を光らせています。

～ 著書の紹介 ～

「効かない健康食品 危ない自然・天然」(光文社新書 2017/5/17)

〈内容〉

・農薬は危ないから、オーガニック食品が安心・食品添加物の摂取量が増えたのがで亡くなる人が増えた・遺伝子組換え食品は危ない——全部、「異議あり」。
がんなどの不安を煽り、「使っていないこちらを」と売る商売は要注意。「食のフェイクニュース」に警鐘を鳴らす科学ジャーナリストがわかりやすく説明する。



「ゲノム編集食品が変える食の未来」(ウェッジ 2020/11/18)

〈内容〉

人口の増加、気候変動などに対応するため、品種改良が重要となっている。そのキーマンテクノロジーは遺伝子組換えとゲノム編集。ところが、間違った報道やネット情報が氾濫し、市民・消費者は不安を煽られている。鋭い科学ジャーナリストが、科学的根拠に基づき「食」の技術革新を解説。消費者が誤解・忌避する心理等も浮き彫りにし、未来の食の行方、日本が果たすべき役割を示す。